



夜明けの蓮華岳。針ノ木岳山頂から。(8/11)



針ノ木岳山頂にて(8/11)



針ノ木岳の影。中央は薬師岳。(8/11)



南の眺め。裏銀座の尾根。中央は水晶岳。(8/11)



針ノ木岳から北へ連なる後立山の稜線。右から、鹿島槍ヶ岳、五竜岳、唐松岳、白馬三山。(8/11)



劔岳(右)、立山(左の平らな山)と、黒部湖。スバリ岳付近から。(8/11)



爺ヶ岳と雲海。スバリ岳付近から。(8/11)



赤沢岳山頂から黒部湖を見下ろす(8/11)



爺ヶ岳(8/11)



雲に飲み込まれようとしている立山。小屋は種池山荘。爺ヶ岳南峰から。(8/11)



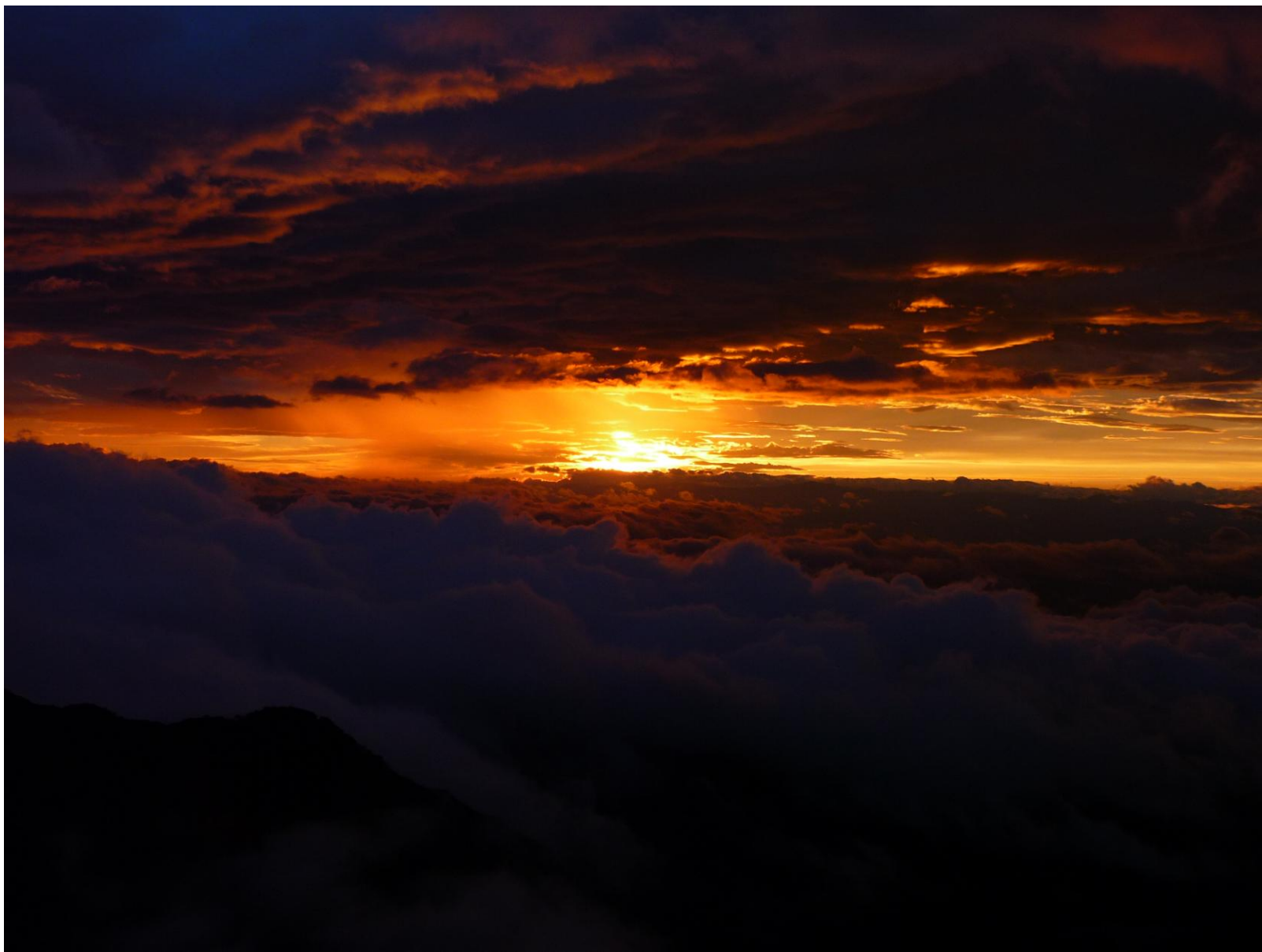
鹿島槍ヶ岳。見えているピークは南峰。手前の小屋は冷池山荘。(8/11)



黒部の谷に湧き立つ雲。冷池のテントサイトから。(8/11)



剡岳(中央やや右)と立山(左)。テントサイトから。(8/11)



台風接近の日、不気味なほど美しい朝焼け。冷池テントサイトから。(8/12)



剱岳と立山(8/12)



鹿島槍ヶ岳もくっきり。しかし、この 30 分後には土砂降りとなった。台風接近ということで冷池で停滞。(8/12)



台風通過の翌日、「台風一過の晴天」を期待したが、雲が多くて残念。
鹿島槍ヶ岳南峰から南の眺め。左端は爺ヶ岳、中央遠くは蓮華岳、その右は針ノ木岳。(8/13)



頸城の山々(8/13)



五竜岳へ続く稜線。一番低いところが八峰キレット。(8/13)



雲の隙間から陽が射しこみ、幻想的な光景が広がる。中央の遠くの山は四阿山。八峰キレット付近から。(8/13)



五竜山荘付近のお花畑。下に見える尾根は遠見尾根。(8/13)



唐松岳付近から見る剣岳は素晴らしい(8/13)



立派な唐松山荘。八歩尾根から手軽に登ることができる唐松岳は人気。(8/13)



鎖場や梯子が続く、険しい不帰嶮(かえらずのけん)。その向こうは天狗の頭、その右は白馬鑓ヶ岳。(8/13)



不帰嶮を眺めていると、妖しい雲が白馬の稜線を覆い始めた。(8/13)



立派な山容の五竜岳。唐松岳山頂付近から。(8/13)



唐松に張ったテントの前から。このテントサイトは大変眺めがいい。(8/13)



雨が降っていて風もあったので、不帰嶮は慎重に通過。私が通過する直前に、二峰で滑落事故があった。(8/14)



白馬三山は霧と強風の中を通過。白馬岳のピークを過ぎると霧が晴れた。右の立派な山は雪倉岳。三国境付近から。(8/15)



朝日岳中腹のお花畑。朝日岳は高山植物が多い。すでに終わっていたが、チングルマの大きな群落があちこちに見られる。(8/13)



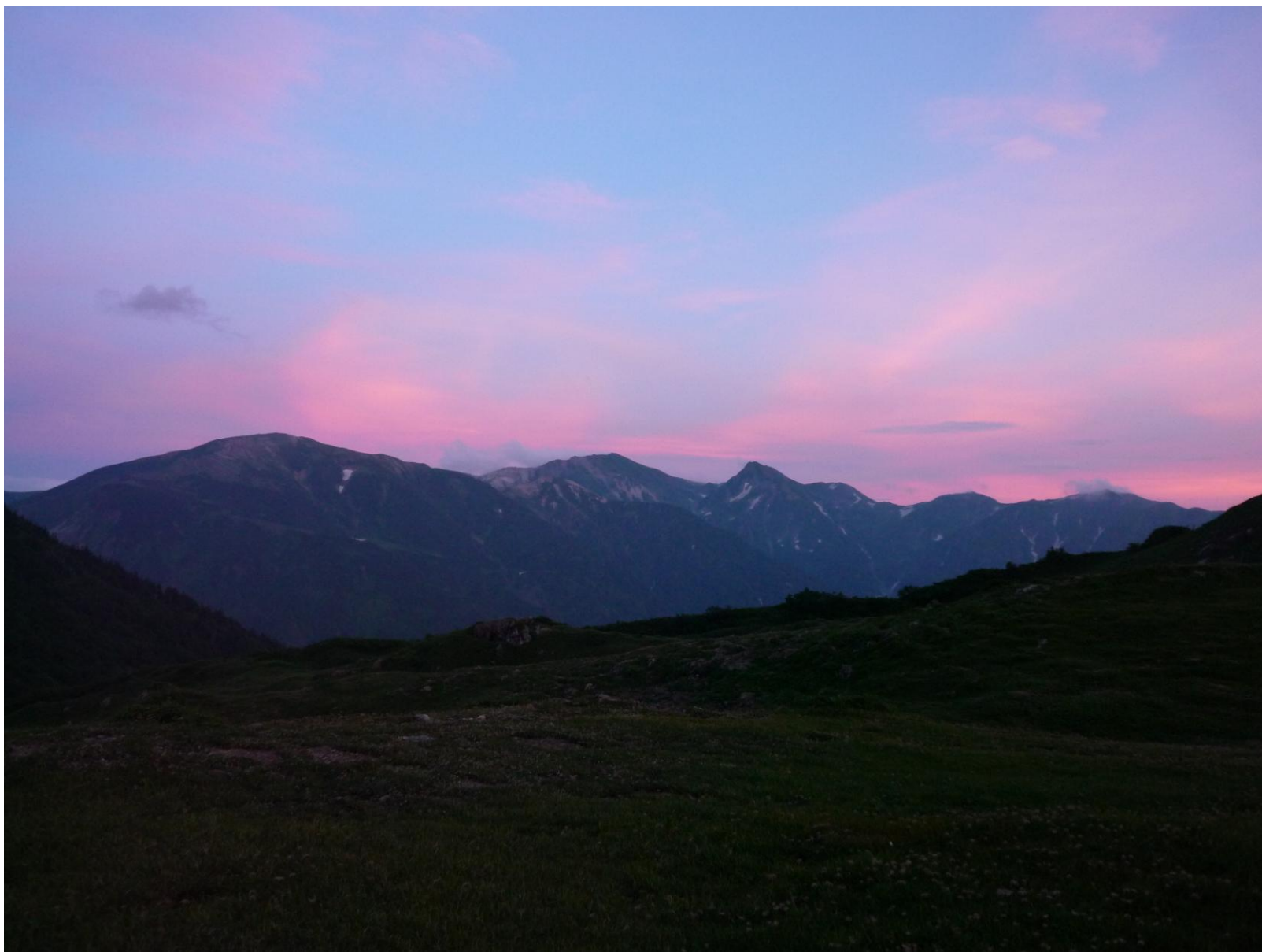
雰囲気の良い朝日平(8/15)



朝日平のテントサイトの周りはチングルマのお花畑。残念ながら花はもう終わっていたが、綿毛が夕陽に輝いてきれいだった。(8/15)



梅海の山並。朝日平から。(8/15)



日没直前、朝からずっと周囲の山々を覆っていた雲が急に消えた。左から雪倉岳、白馬岳、旭岳。(8/15)



紫色に染まる北の山並。雲海の下の淡い線が海岸線。(8/15)



黒岩平。梅海新道の前半、黒岩山までは湿原が多い。(8/16)



黒岩山から北に続く稜線。(8/16)



山並みの向こうは日本海のはずだが、ガスがかかっているのはっきりと見えない。(8/16)



美しい広葉樹林の尾根を歩く。(8/16)



ときどき樹林の間から海が見える。急な下りが続き、膝が笑う。(8/16)



やっと国号 8 号線に出た。海へは、ホテルの脇を 100m ほど下る。



ここはまだ終点ではない（標識にも日本海の矢印が）(8/16)



湊沢を出発して 11 日目、北アルプスの北端、日本海の親不知海岸に無事到着！(8/16 午後 6 時半)